

令和2年6月15日

関東エアロビック協議会
理事の皆様

関東エアロビック協議会
会長 今村 晶子
副会長 関口 美恵子
事務局長 宮本 真理子

「第7回 関東エアロビック選手権大会」開催延期のお知らせ

梅雨の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より各地域におかれましてエアロビック普及、振興に多大なるご尽力を頂き、深く感謝申し上げます。

今年はコロナ禍の影響で、エアロビック界にとって厳しい新年度スタートとなりました。都県大会のみならず JAF 主催の大会が次々と延期や中止となる旨の発表があり、皆様におかれましても気持ちの落ち着かない日々をお過ごしのこととお察し致します。

さて、私たち関東エアロビック協議会主催の「関東エアロビック選手権大会」につきまして、お知らせ致します。

山梨県エアロビック連盟の斎藤晴美理事長がご多忙の中、会場決定などに奔走して下さり計画しておりました今年度の「関東大会」でございますが、大変残念ながら諸般の事情に鑑み見送る事になりました。

JAF 内でも競技会開催の可能性について協議検討がなされ、例年スポーツエアロビックで実施されているフライト競技は「密」を避けられない競技であることから、シニア、ユースともに従来の形式での競技会を中止する事になりました。（この件につきましては、6月12日付 JAF ニュースを通して知念理事長からメッセージが発信されました。）

それに付随して、全国ブロック大会ではフライト競技の全国シードは無くなります。ブロック大会そのものについても強制力を伴わない中止要請が出されました。

このような状況から、開催を計画して頂いております山梨県連盟様には大変申し訳なくまたフライト競技選手の皆様に向けてはつらい告知となりますが、安全、安心を第一にして上記の結論に至りました。何卒深いご理解を頂きたいと存じます。

つきましては各県内での周知をお願い致します。

コロナ禍収束後は、ぜひ皆様と力を合わせて「笑顔が溢れる関東大会」の開催を実現させましょう。

末筆ながら皆様のご健康と各県連盟様のご発展を心よりお祈り申し上げます。